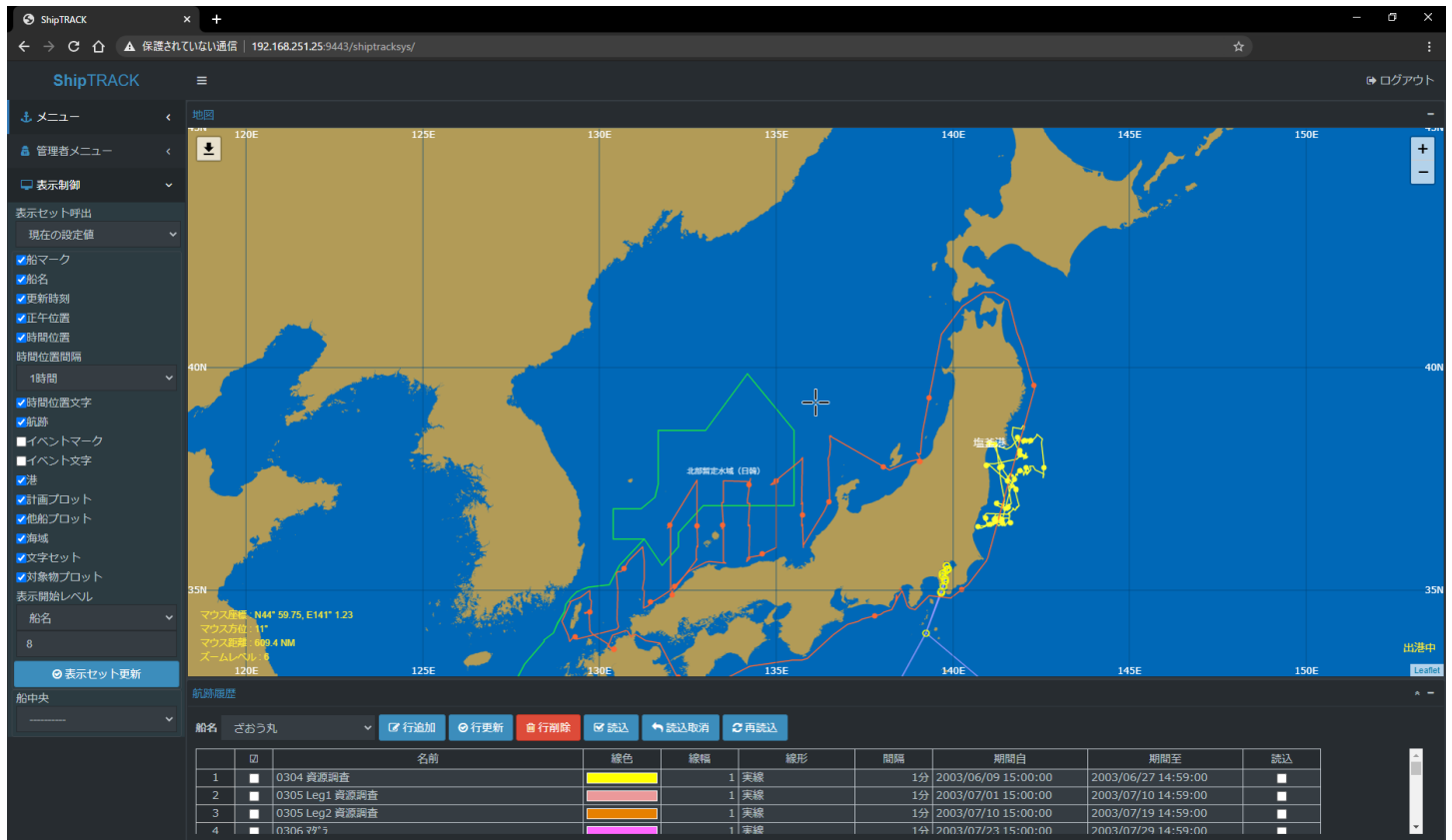


航跡プロットシステム

ShipTRACK



- インターネット上での運航状況の公開
- 準リアルタイムでの運航管理
- Noon 位置の自動表示
- 航跡図の自動作成

- 航路計画図の作成と航路計算
- 各種事象（イベント）の記録
- データベースへの蓄積と再利用
- 各種作図機能（海域・航路・任意文字等）

航海計器・調査観測機器等のデータを収集し、航跡の地図表示、船上で発生する様々な事象（イベント）の作成・表示、各種作図の作成・表示を行なうことが可能な Web アプリケーションです。

豊富で柔軟性のある表示オプションにより、様々な表示のカスタマイズが可能です。レスポンシブデザインに対応しており、異なるデバイス（スマホ・タブレット対応）に応じた表示に切り替えることが可能です。

本アプリケーションの標準機能を元に、独自のアプリケーション構築へと発展させることも可能です。

株式会社 東北電技工業

〒985-0001 宮城県塩釜市新浜町 2 - 1 1 - 1

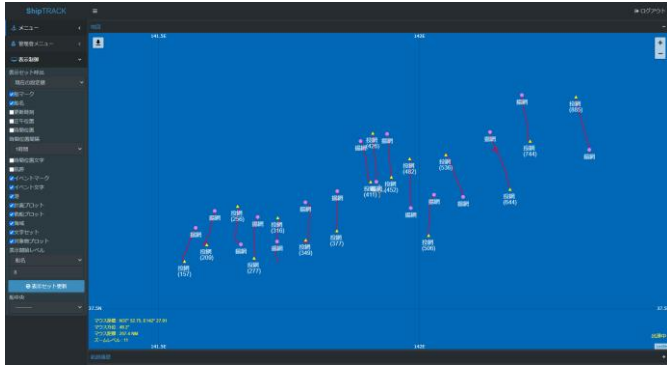
TEL 022-365-5155 FAX 022-364-9664

E-mail info@tdk-net.co.jp URL <https://tdk-net.co.jp/>



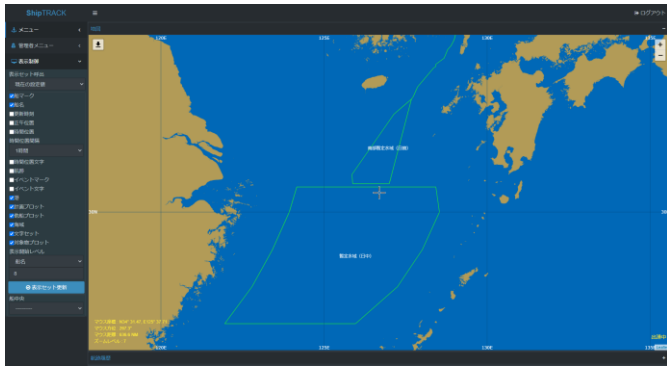
航跡表示

航行した航跡をデータベースへ自動記録します。



各種事象（イベント）の記録

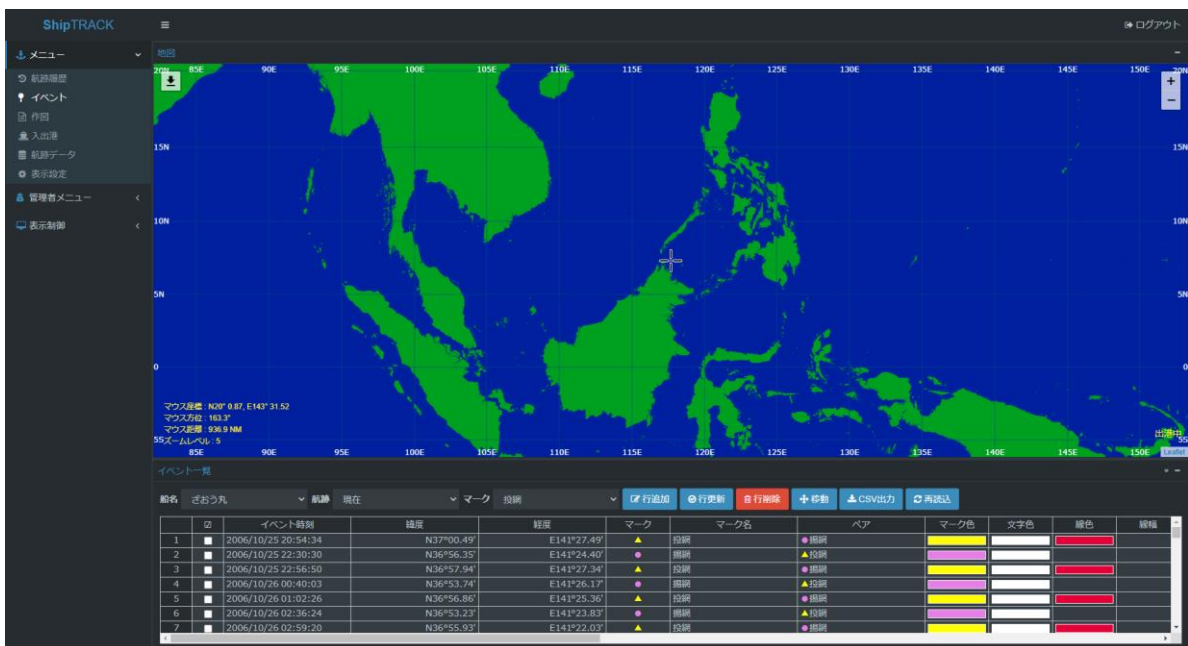
航海中に発生した各種事象（イベント）を記録することができます。ペア機能を利用し、2個のイベント間の航跡に通常の航跡と異なる属性の線を重ねて描画することができます。



各種作図機能

計画プロット、他船プロット、海域、対象物プロット、任意文字列等の作図機能を提供します。

世界地図対応



航跡プロットシステムは、1隻程度の小規模なシステムから世界規模の運行管理システムまで、お客様の予算規模に応じたオプションと発展性を備えたものとなっております。

自動プロット	更新モード	海図固定モード 船中心モード（複数船舶を表示している場合は、船舶を選択する）	
	プロット間隔	1分 3分 5分 10分 30分 1時間	
航跡履歴の表示	表示範囲	期間自、期間至による年月日での範囲指定	
	航海名登録	範囲指定値を任意の航海名にて保存／呼出が可能	
	プロット間隔	1分 3分 5分 10分 30分 1時間	
イベントマーク挿入	予め登録しておいたイベントマークを選択し航跡上に挿入する機能 時刻および位置の精度はGPS等のデータ出力間隔、および位置精度による 挿入後のイベントマークは、全ての属性を個別に変更可能		
イベントマーク登録	通常使用する、または航海毎に使用するイベントマークを、予め作成し登録しておく機能		
	マーク	種類	13種類
		大きさ	[最小][小][中][大][最大]から選択
		色	16進数カラーコード
		表示制御	個別に表示／非表示の切替えが可能
	名前	文字数	32文字
	コメント1	大きさ	[最小][小][中][大][最大]から選択
	コメント2	色	16進数カラーコード
	コメント3	表示制御	個別に表示／非表示の切替えが可能
	イベント間線	ペアとなるイベント間に、航跡に沿って重ねて引かれる線 航跡を非表示にした場合は、イベントマークとイベント間線のみの表示となり、 業務状況の記録として最適な表示、画像出力を提供 使用例 [海洋調査位置図][追跡状況位置図][捜索状況位置図]	
線の種類	[実線][点線][破線]から選択		
線の幅	任意 (0.0~99.9)		
線の色	16進数カラーコード		
作図機能	マウスによる作図、および表への緯度経度（DMM形式またはDEG形式）入力による作図		
	カテゴリー	[計画プロット][対象物プロット][他船プロット][海域][文字列セット] ※ここでの他船プロットは手動プロットです。	
	インポート	システム標準形式のCSVファイル、またはECDISから出力したファイルのインポートが可能	
	その他	[マーク][名前][コメント1][コメント2][コメント3][線の種類][線の幅][線の色] に関してはイベントマークと同じ。	
入出港管理	予定登録 (出港時)	[出航日時][入港日時][航海名]を登録することにより下記が自動設定されます。 1.自船航跡の表示開始日時が、出航日時からとなります。 2.自船航跡およびイベント等の送信開始日時が、出航日時からとなります。 3.入港時の「実績登録」により、航跡履歴リストに航海名と共に航海情報が登録されます。	
	実績登録 (入港時)		
正午位置表示機能	マーク／月日	航跡上に毎日の正午位置および月日を表示する機能	
時間位置表示機能	マーク／時分	航跡上に指定した時間間隔でマークおよび時分を表示する機能（分指定）	
基本表示設定	表示制御項目	[船マーク][船名][更新時刻][正午位置][航跡][計画プロット] [他船プロット][海域][文字列セット][対象物プロット][イベント][港]	
表示開始レベル設定	地図のズームレベルを変更した時に、連動して表示するマークや文字列のズームレベルの設定 [船名][正午位置][時間位置][港][イベントマーク][イベント文字][計画プロット][対象物プロット] [他船プロット][海域][文字列セット]を独立して指定可		
画面設定	図法	[メルカトル図法]	
	中心位置	マウスのドラックによる移動 矢印キーによる移動 緯度経度（DMM形式またはDEG形式）によるキー入力指定	
	表示範囲	マウスのホイールによる拡大/縮小 [+][−]キーによる拡大/縮小	
	色指定	16進数カラーコード [海][陸][文字][グリッド][位置]の色を変更可	
港の登録	名前	32文字	
	表示位置	緯度経度（DMM形式またはDEG形式）による指定	
	表示制御	表示／非表示の指定	
表示モード	各種表示状態を、名前を付けて保存可能 (例)	[船のみ] [正午位置図] [観測点位置図] [航路計画] [運航管理] [他船追尾]	
画像ファイル出力	出力形式	PNG（表示サイズ、A4横、A4縦）	
CSV形式出力	航跡データ	データの有効利用のため、CSVファイル形式にて入出力する。	
	イベントデータ	表計算ソフト等にて、データの利用が可能となります。	
航路計画データの入出力	システム標準形式のCSVファイル、またはECDIS形式の航路計画データファイルの入出力が可能。 計画プロットデータを元に、各目的地間までの距離/方位、および各目的地までの到着予定時刻、総航程時刻、総航程距離等をCSVファイル形式で出力する。		
通信機能 データ転送機能	船団連携システムおよび運航管理システムの構築が可能 通信データ、航跡、イベントマーク、各種作図データ		

※ 仕様は変更になる場合があります。